

■ コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は21件になりました。第26週以降報告が続いています。

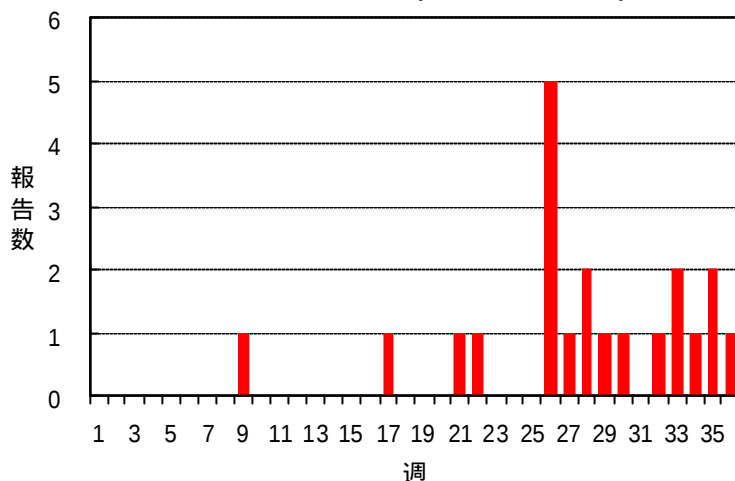
2. 感染性胃腸炎

定点当り15.04人とやや増加しており、2週続けて増加しています。例年同時期と比べて多くなっています。

3. 水痘

定点当り10.92人と急増しており、例年同時期と比べて多くなっています。

腸管出血性大腸菌感染症(2006年第36週まで)



■ 5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	-		麻疹(注3)	-	-	0.06	
咽頭結膜熱	14	0.58	0.23		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.76	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	0.55		RSウイルス感染症	1	0.04		
感染性胃腸炎	121	5.04	2.96		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	
水痘	22	0.92	0.52		流行性角結膜炎	13	1.63	1.83	
手足口病	10	0.42	0.69		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	5	0.21	0.23		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.29	
突発性発疹	14	0.58	1.04		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.20	
百日咳	1	0.04	0.01		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	6	0.25	0.57						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く

(注3) 成人麻疹を除く

(注4) オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	21	男性(10歳未満)・O111
4	レジオネラ症	1	3	男性(60歳代)
5	急性脳炎	2	9	男性(50歳代)、女性(40歳代)
5	破傷風	1	1	男性(70歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

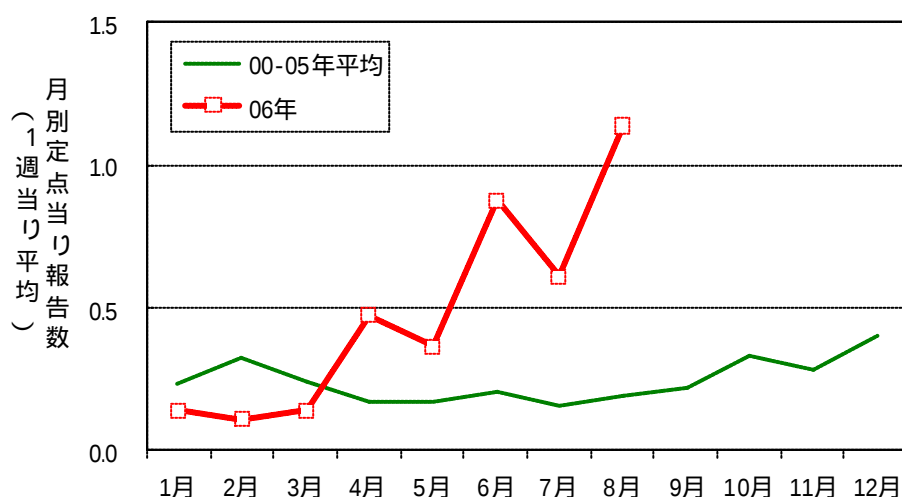
			インフルエンザ (注1)	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
報告数	広島市	第32週	-	14	13	98	11	6	14	15	2	-	25	-	12	1	-	11	-	2	10	-	-
		第33週	-	7	15	75	7	4	7	21	-	-	8	-	6	-	-	9	-	-	11	-	-
		第34週	-	7	11	78	16	8	10	33	-	-	7	-	8	-	-	14	-	1	2	-	1
		第35週	-	12	15	98	8	7	5	24	2	-	9	-	8	-	1	4	-	1	2	-	-
		第36週	-	14	13	121	22	10	5	14	1	-	6	-	2	1	1	13	-	1	4	-	-
定点当り	広島市	第32週	-	0.64	0.59	4.45	0.50	0.27	0.64	0.68	0.09	-	1.14	-	0.55	0.05	-	1.57	-	0.29	1.43	-	-
		第33週	-	0.29	0.63	3.13	0.29	0.17	0.29	0.88	-	-	0.33	-	0.25	-	-	1.13	-	-	1.57	-	-
		第34週	-	0.29	0.46	3.25	0.67	0.33	0.42	1.38	-	-	0.29	-	0.33	-	-	1.75	-	0.14	0.29	-	0.14
		第35週	-	0.50	0.63	4.08	0.33	0.29	0.21	1.00	0.08	-	0.38	-	0.33	-	0.13	0.50	-	0.14	0.29	-	-
		第36週	-	0.58	0.54	5.04	0.92	0.42	0.21	0.58	0.04	-	0.25	-	0.08	0.04	0.13	1.63	-	0.14	0.57	-	-
全国	第34週	0.01	0.71	0.58	2.56	0.65	0.89	0.34	0.89	0.01	-	0.67	-	1.11	-	0.03	1.40	0.02	0.07	0.35	0.01	-	
	第35週	0.01	0.66	0.59	2.69	0.45	1.08	0.31	0.89	0.01	-	0.55	-	1.03	-	0.02	1.27	0.01	0.08	0.37	0.02	-	

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	9	女	2006/07/31	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
咽頭結膜熱	0	男	2006/08/05	糞便	アデノウイルス1型
咽頭結膜熱	0	男	2006/08/06	髄液 糞便 鼻汁(拭い液)	パレコウイルス
感染性胃腸炎	7	男	2006/08/02	糞便	パレコウイルス
感染性胃腸炎 不明熱	0	男	2006/07/31	糞便	エコーウイルス18型
腸重積症	2	女	2006/08/01	糞便	エコーウイルス18型
腸重積症	1	男	2006/08/04	糞便	エコーウイルス18型
肺炎	5	男	不明	咽頭拭い液	アデノウイルス3型

【参考】広島市におけるマイコプラズマ肺炎の月別報告数の推移



図に示した月別定点当り報告数の推移をみると、2006年は4月から増加傾向になっており、8月は2000年から2005年までの平均値と比べてかなり多くなっています。

例年、秋季から冬季にかけて多くなる傾向にあることから、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第36週 (9月4日～9月10日)